

大谷大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 大谷大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、仏教の精神に則り、人格を育成するとともに、仏教並びに人文に関する学術を教授研究し、広く世界文化に貢献することを目的とする。

(自己点検・評価)

第2条 前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、本学において自ら不断に点検及び評価を行い、その教育研究水準の向上を図るものとする。

2 前項の点検・評価を行う組織・項目など、実施に必要な体制については別に定める。

第2章 組織

(学部)

第3条 本学に次の学部を置く。

- (1) 文学部
- (2) 社会学部
- (3) 教育学部

2 各学部の人物の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- (1) 文学部は、歴史の中で蓄積されてきた多様な文化的所産に学ぶことを通して、人間と世界に関わる根本的な問題を解明し、深く自己を洞察しつつ現代社会を主体的に生きることのできる人物の育成をめざす。
- (2) 社会学部は、現代社会の諸課題に向き合うことを通して、地域社会など身近な場において、異なる他者と敬い合いながら生きることのできる世界を構築する構想力と実践力を身につけた人物の育成をめざす。
- (3) 教育学部は、純真な人格形成を目指す高い教職意識と責任感を持ち、社会的常識や対人関係能力を備えて子どもたちの声に耳を傾けることのできる、慈育の精神に富んだ専門職業人の育成をめざす。

(学科)

第3条の2 各学部に次の学科を置く。

- (1) 文学部 真宗学科、仏教学科、哲学科、歴史学科、文学科、国際文化学科
- (2) 社会学部 現代社会学科、コミュニティデザイン学科
- (3) 教育学部 教育学科

2 各学科の人物の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 文学部

ア 真宗学科は、釈尊の教説や親鸞の著作などに依り、自己を問い、人間を問うとともに、親鸞思想とその思想的背景の研究を進め、仏教精神に基づく豊かな人物の育成をめざす。

イ 仏教学科は、仏教の専門的な知見を通して深く人間を理解し、現代社会のさまざまな問題の根底に存在する課題を見抜いて、他と共に生きようとする人物の育成をめざす。

ウ 哲学科は、人間や世界にかかわる根本的な問題を東西の思想伝統を踏まえつつ考究し、多様かつ柔軟な視点と論理的思考力を培い、現代の諸問題に対処することのできる人物の育成をめざす。

エ 歴史学科は、日本を含む東アジアの歴史及びそれと不可分な仏教など諸宗教・思想を対象とした歴史学研究を通じて、現代社会で直面するさまざまな課題を多角的かつ的確に分析し、それに対処しうる人物の育成をめざす。

オ 文学科は、東洋・西洋の文学を研究対象とし、テキストの精読・分析を通して詩的象徴世界を解明し、人間と社会への理解力及び、洞察力を持った人物の育成をめざす。

カ 国際文化学科は、地域対象の「地域文化研究」、比較文化的手法を発展させた「異文化・自文化理解」、外国語運用能力を含めた「コミュニケーション力」を核とした教育を行うことによって、国際人としての人物の育成をめざす。

(2) 社会学部

ア 現代社会学科は、現代の多様な社会文化事象を対象に、社会学と関連学問の視点と方法に基づく主体的探究学修を進めることを通じて、現代社会の特性と自らの立ち位置を的確に把握し、人々の間でビジョンとルールを提案・交渉することができる人物の育成をめざす。

イ コミュニティデザイン学科は、身近な地域コミュニティで生起する諸課題に対して、「人と人をつなぐ」実践手法を進めることにより、広い領域内容から「コミュニティ」のこれからを「デザイン」していく理論とスキルを身につけた人物の育成をめざす。

(3) 教育学部

教育学科初等教育コースは、仏教精神に基づく宗教的情操を身につけ、インクルーシブ教育など社会的な要請に応えようとする責任感を持ち、慈しみの心を持って他者と接することのできる、子どもの「育ち」を担う教育者の育成をめざす。幼児教育コースは、仏教精神に基づく宗教的情操を身につけ、インクルーシブ教育など社会的な要請に応えようとする責任感を持ち、慈しみの心を持って他者と接することのできる、子どもの「育ち」を担う保育者の育成をめざす。

(収容定員)

第3条の3 各学部学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
文学部	真宗学科	60名	240名
	仏教学科	25	100
	哲学科	50	200
	歴史学科	100	400
	文学科	70	280
	国際文化学科	90	360
	計	395	1,580
社会学部	現代社会学科	120	480
	コミュニティデザイン学科	100	400
	計	220	880
教育学部	教育学科※	130	520
	(初等教育コース)	(50)	(200)
	(幼児教育コース)	(80)	(320)
	計	130	520
計		745	2,980

※教育学部教育学科には、初等教育コース(入学定員50名/収容定員200名)、幼児教育コース(入学定員80名/収容定員320名)の2コースを置く。

(大学院)

第4条 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

(研究室・図書館・博物館・研究所・体育館)

第5条 本学に研究室、図書館、博物館、真宗総合研究所及び体育館を置く。

2 研究室、図書館、博物館、真宗総合研究所及び体育館に関する規程は、別に定める。

第3章 職員組織

(教職員)

第6条 本学に次の教職員を置く。

- (1) 学長
- (2) 教育職員(教授、准教授、講師、助教)
- (3) 事務職員(幹事、書記、書記補)
- (4) その他必要な教職員

第4章 教授会

(教授会)

第7条 本学に教授会を置く。

2 教授会の運営に関する必要事項については、別に定める。

第8条 削除

第9条 削除

第10条 削除

第11条 削除

第12条 削除

第5章 学年・学期及び休業日

(学年・学期)

第13条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

3 学長は、前項の学期を変更することができる。

(休業日)

第14条 本学における休業日を次のとおり定める。

- (1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 開学記念日 10月13日

(4) 春期休業 3月20日から3月31日まで

(5) 夏期休業 8月1日から9月10日まで

(6) 冬期休業 12月27日から翌年1月7日まで

2 学長は、前項第1号から第3号までに定めるもののほか、臨時に休業日を定めることができる。

3 学長は、第1項の休業日を変更することができる。

(授業期間)

第15条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第16条 修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第17条 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、第37条第1項又は第38条第1項の規定により入学した学生は、第37条第2項又は第38条第2項に定められた修業年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。なお、再入学者又は復籍者は、過去に在学していた年数を在学年数に含めるものとする。

第7章 教育課程

(開設授業科目)

第18条 授業科目は、必修科目、選択科目に分け、これを各年次に配当して編成することを考慮し、その内容により、共通基礎科目、学科専門科目及び現代総合科目に分ける。

2 前項の授業科目及び単位数は、別表I-1のとおりとする。

(卒業の要件)

第19条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、次の基準及び卒業単位一覧表に基づいて、124単位以上を履修しなければならない。

(1) 共通基礎科目

教育目標を達成するための根幹をなす科目を各専門共通の基礎科目として開講

し、ブッダと親鸞の基本思想を通して人間について考える「人間学」、高校までの学びから大学の学びへの転換と専門への接続をはかる「導入科目」及びグローバル化時代の共通言語である英語をはじめ、様々な言語を学びながら文化の多様性に触れる「外国語」を置く。

ア 総合科目 計8単位以上

「人間学Ⅰ」 4単位

「人間学Ⅱ」 4単位以上

イ 大学導入科目

「学びの発見」 2単位

ウ 必修外国語

文学部

「英語Ⅰ」 4単位及び「初修外国語Ⅰ」 4単位

「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」 4単位

社会学部

「英語Ⅰ」 4単位及び「初修外国語Ⅰ」 0単位以上

「英語Ⅱ」 4単位及び「初修外国語Ⅱ」 0単位以上

教育学部

「英語Ⅰ」 4単位及び「初修外国語Ⅰ」 0単位以上

「英語Ⅱ」 4単位及び「初修外国語Ⅱ」 0単位以上

エ 選択外国語 0単位以上

(2) 学科専門科目

各学部、学科、コースごとの専門的な学びを修得するための科目を学科専門科目として開講し、専門の体系的理解を促す講義や、知的探究心を呼び起こす実践研究等の科目を置くとともに、自らの課題を専門分野の視点から問い直し、発表と議論を通して研究を深める演習の科目を置き、これらの学びをふまえて卒業研究の作成をめざす。

文学部 計66単位以上

社会学部 計92単位以上

教育学部 計84単位以上

各学部学科の区分の詳細は「大谷大学履修規程」に定める。

(3) 現代総合科目

専門分野の補完や幅広い現代教養（キャリア形成・自然生命・歴史文化）のた

めの科目を現代総合科目として開講し、各自の興味や関心にあわせ、3つの系ごとに自由に科目を選択して学習する。

文学部 キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ4単位以上、合計12単位以上

社会学部 現代総合科目全体で合計6単位以上

教育学部 現代総合科目全体で合計6単位以上

詳細は「大谷大学履修規程」に定める。

(4) 自己選択科目

他学部又は他学科開講科目で履修した単位並びに第26条の2、第26条の3及び第26条の4で認定された単位を自己選択科目として認定することができる。

詳細は「大谷大学履修規程」に定める。

卒業単位一覧表

学部		文学部						社会学部		教育学部
科目群\学科		真宗 學科	仏教 學科	哲学 科	歴史 學科	文学 科	国際 文化 學科	現代 社会 學科	コ ミ ニ テ ィ シ ン 学 科	教育学科
共通基 礎科目	総合科目	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上
	大学導入	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	必修外国語	12	12	12	12	12	12	8以上	8以上	8以上
	選択外国語	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上
	小計	22以上	22以上	22以上	22以上	22以上	22以上	18以上	18以上	18以上
学科専 門科目	演習	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	概論	4	4	8	6	8	4	8	10	4
	講義	16	20	22	22	22	26又 は18	40	38	36又は34
	実践研究	22	18	12	14	12	12又 は20	20	20	20又は22
	卒業研究 (卒業論文・卒 業研究・卒業 制作)	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	小計	66以上	66以上	66以上	66以上	66以上	66以上	92以上	92以上	84以上
現代総 合科目	キャリア形成 系	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	0以上	0以上	0以上
	自然生命系	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	0以上	0以上	0以上
	歴史文化系	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	0以上	0以上	0以上
	小計	12以上	12以上	12以上	12以上	12以上	12以上	6以上	6以上	6以上
自己選択科目		0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上
合計		124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上

(副専攻)

第19条の2 第18条に規定する開設授業科目のうち、特定課題に関する科目で構成する副専攻を開設し、その学習成果を認定することができる。

2 副専攻に関し必要な事項については、別に定める。

(資格の取得)

第20条 本学において中等科教育職員免許状を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」は、必修科目と選択科目とし、その授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 本学において取得できる中等科教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学 科	種 類	教 科	基礎資格
文	真 宗 学 科	高等学校教諭一種	宗教科	学士の学位を有すること。
		中学校教諭一種		
哲 学 科	高等学校教諭一種	公民科		
	中学校教諭一種	社会科		
学	歴 史 学 科	高等学校教諭一種	地理歴史科	
		中学校教諭一種	社会科	
部	文 学 科	高等学校教諭一種	国語科	
		中学校教諭一種		
部	国際文化学科	高等学校教諭一種	英語科	
		中学校教諭一種		

4 その他教職に関する必要事項は、別に定める。

第20条の2 本学において初等科教育職員免許状を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 本学において取得できる初等科教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学 科・コ ー ス	種 類	基礎資格
教育学部	教育学科 初等教育コース	小学校教諭一種	学士の学位を有すること。
	教育学科 幼児教育コース	幼稚園教諭一種	

4 その他教職に関する必要事項は、別に定める。

第20条の3 本学において学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得すると共に、学校図書館司書教諭講習規程に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 その他学校図書館司書教諭に関する必要事項は、別に定める。

第21条 本学に社会教育法第9条の4第3号及び社会教育主事講習等規程第11条の規定に基づき、社会教育主事としての素養を与えるために、「社会教育に関する専門科目」を置く。

(1) 授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

(2) その他社会教育に関する必要事項は、別に定める。

第21条の2 本学に博物館法及び同法施行規則に定める「博物館学に関する専門科目」を置く。

(1) 授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

(2) その他博物館学に関する必要事項は、別に定める。

第21条の3 本学に図書館法及び同法施行規則に定める「図書館学に関する専門科目」を置く。

(1) 授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

(2) その他図書館学に関する必要事項は、別に定める。

第21条の4 真宗大谷派教師の資格取得に必要な科目として「真宗大谷派教師資格に関する科目」を置く。

(1) 授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

(2) その他真宗大谷派教師資格取得に関する事項は、別に定める。

第22条 社会学部コミュニティデザイン学科において社会福祉士国家試験受験資格を取得するために「社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目」を置く。

(1) 授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

(2) その他社会福祉士国家試験受験資格取得に関する必要事項は、別に定める。

第22条の2 教育学部において保育士資格を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 本学において取得できる保育士資格は、次のとおりとする。

学部	学科	種類	基礎資格
教育学部	教育学科	保育士資格	学士の学位を有すること。

4 その他保育士に関する必要事項は、別に定める。

第22条の3 保育心理士の資格取得に必要な科目として「保育心理士資格に関する科目」を置く。

(1) 授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

(2) その他保育心理士資格取得に関する事項は、別に定める。

第8章 履修の方法、学習の評価及び進級

(コース登録)

第23条 学生は、コース登録を別に定める方法により行わなければならない。

(履修登録)

第24条 学生は、当該年度において履修すべき授業科目を定められた時期に登録しなければならない。登録は、聴講登録及び受験登録とする。

2 学生は、前項により登録をした授業科目以外の授業科目を履修し、また単位を修得することができない。

(単位)

第25条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成し、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 外国語、実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(4) 卒業研究については、その制作に必要な学修等の成果を評価し、8単位とする。
(授業の方法)

第25条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

(単位修得の認定)

第26条 本学は、授業科目を履修し、授業に3分の2以上出席した者には、認定の上、所定の単位を与える。

2 単位修得の認定は、試験、論文その他の方法によるものとし、その方法は、各授業科目担当者がこれを定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第26条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校の専門課程（以下「大学等」という。）又は高等学校の専攻科及び中等教育学校の後期課程の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。以下「高等学校等の専攻科」という。）において履修した授業科目について修得した単位を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなし、与えることのできる単位数は、編入学、転入学又は再入学の場合を除き、本学において修得した単位を含めて40単位を超えないものとする。

3 編入学又は転入学の場合の入学前に修得した単位の認定は、教授会の議を経て、学長が決定する。

4 再入学の場合の退学前に修得した単位の認定は、教授会の議を経て、学長が決定する。

5 再入学者が、退学から再入学までの期間中に大学等又は高等学校等の専攻科において修得した単位がある場合は、前項で認定された単位を除き、本学において修得した

単位を含めて40単位を超えない範囲で単位認定することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第26条の3 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、前条の単位数と合わせて40単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 再入学の場合は、本学を退学後、再入学までの期間中に大学又は短期大学において修得した単位の認定が40単位に満たない者についてのみ、前項の規定を適用する。ただし、前条第4項で認定された単位は除くものとする。

(外国の大学又は短期大学における単位の修得)

第26条の4 外国の大学又は短期大学で単位を修得した場合は、第26条の2及び前条の規定を準用する。この場合修得したものとみなすことができる単位数は、第26条の2及び前条の単位数と合わせて40単位を超えないものとする。

(試験等の時期)

第27条 試験等の時期は、原則として学期末とするが、学長が特に必要と認めた場合は、試験の時期を変更することができる。なお、各授業科目担当者が必要と認めるときは、臨時にこれを行うことができる。

(卒業研究)

第28条 卒業研究は、卒業論文、卒業研究、卒業制作等のいずれかの学修の成果を評価する。評価するものは、学部学科ごとに指定する。詳細は、「大谷大学履修規程」に定める。

2 卒業研究の題目は、指導教員の承認を得て決定するものとする。

3 卒業研究の審査は、口述試問を必要とする。

(受験資格)

第29条 当該授業科目の履修について、定められた時期に登録していない者は、試験を受けることができない。

2 前項のほか、懲戒のため全部又は一部の学習をしない授業科目の試験は、原則として受けることができない。

(追試験)

第30条 疾病等正当な事由によって受験できなかった者については、願い出の後、各学部長が認めた限度内において追試験を行うことができる。

2 追試験に関する必要事項は、別に定める。

(学習の評価)

第31条 授業科目の成績は、次のとおりとし、S、A、B、Cを合格とする。

S … (100点～90点)

A … (89点～80点)

B … (79点～70点)

C … (69点～60点)

F … (59点～0点)

K … (棄権・放棄により評価できないもの)

(進級)

第32条 各学年に進級の基準を設け、これに達しない者は、進級を認めない。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 入学

(入学の時期)

第33条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

(入学資格)

第34条 本学の第1学年に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 高等学校卒業程度認定試験規程により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(7) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学の出願)

第35条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に別表Ⅱに定める入学検定料を

添えて提出しなければならない。

2 提出の時期、方法、同時に提出すべき書類等については、別に定める。

(入学者の選考)

第36条 前条の入学者志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(再入学)

第37条 願いにより本学を退学した者が、退学後5年以内に再び本学へ入学を希望するときは、欠員のある場合に限り選考を行うことができる。

2 前項の規定による選考に合格した者の本学における修業年数は、教授会の議を経て、学長が決定する。

3 再入学について必要な事項は、別に定める。

(編入学及び転入学)

第38条 次の各号のいずれかに該当する者で本学への編入学又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考を行うことができる。

(1) 大学(外国の大学を含む。)を卒業した者

(2) 大学(外国の大学を含む。)を中途退学(第1学年又は第2学年を修了)した者

(3) 短期大学(外国の短期大学を含む。)、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者で、学校教育法第90条第1項に定める大学の入学資格を有する者

(5) 高等学校等の専攻科を修了した者で、学校教育法第90条第1項に定める大学の入学資格を有する者

(6) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

(7) その他本学において、相当の年齢に達し上記各号と同等以上の学力があると認められた者

2 前項の規定による選考に合格した者の本学における修業年数は、教授会の議を経て、学長が決定する。

3 編入学及び転入学について必要な事項は、別に定める。

(入学志願者の合否の決定)

第38条の2 学長は、前3条の選考の結果について教授会で審議し、その意見を十分

に考慮したうえで、入学志願者の合否を決定する。

(入学手続及び入学許可)

第39条 第36条、第37条及び第38条の規定による選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに誓約書、保証人の保証書及びその他必要な書類を提出するとともに定められた学費等を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第40条 保証人は、学生の在学中における、所定の納付金を遅滞なく納入することを含む一切の責任を負う者とする。

2 保証人の転居、改印、死亡等のことがあった場合には、その旨を届け出なければならない。ただし、保証人の死亡その他の事由によって、保証人の変更を必要とする場合は、改めて保証書を提出しなければならない。

第10章 休学、復学及び留学

(休学)

第41条 疾病、事故その他特別の理由により、2ヵ月以上修学することができない者は、その事由を具して保証人連署の上、休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病等のため修学することが適当でないと認められる者については、学長はこの者に対して休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第42条 休学期間は、1学期又は1年とする。ただし、引きつぎ休学を要するときは特別の事由がある場合に限り、更に1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 引きつぎ休学を要する場合は、その1ヵ月前までに休学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

3 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、第16条及び第17条に定める在学期間には算入しない。

(休学中の科目履修)

第43条 学生は、休学のため全部又は一部の学習をしない授業科目の試験は原則として受けることができない。

(復学)

第44条 休学者が復学しようとするときは、復学しようとする学期の1ヵ月前までに所定の様式により復学願を提出し、学長の許可を得て復学することができる。

2 復学の時期は、前期又は後期の始めとする。
(留学)

第44条の2 学長が教育上有益と認めるときは、外国の大学又は短期大学に留学を許可することができる。

2 留学に関する取扱いは、別に定める。

第11章 転学、退学、除籍及び復籍

(転学)

第45条 本学の学生が他の大学へ転学を希望する場合は、事前に退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

(退学)

第46条 退学しようとする者は、その事由を詳記し、保証人連署の上、所定の様式により退学願に学生証を添えて提出し、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第47条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

- (1) 規定された納金の義務を怠った者
- (2) 第17条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第42条第1項及び第3項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- (4) 長期間に亘り行方不明の者
- (5) 死亡した者

(復籍)

第48条 前条第1号により除籍された者は、除籍後3年以内に限り、学長の許可を得て復籍することができる。

2 復籍について必要な事項は、別に定める。

第12章 卒業及び学位

(卒業)

第49条 各学部にて4年(第37条第1項及び第38条第1項の規定により入学した者については、第37条第2項及び第38条第2項に定められた修業年数)以上在学し、第19条に定める所定の単位を修得した者については、教授会で審議し、その意見を十分に考

慮したうえで、学長が卒業を認定する。

(学位)

第50条 本学は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

第13章 賞罰

(表彰)

第51条 学生として他の模範となる者に対しては、教授会の議を経て、学長がこれを表彰する。

(懲戒)

第52条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為を為した者は、補導会議の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する学生に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 補導会議については、別に定める。

第14章 学寮

(学寮)

第53条 本学に学寮を置き、学生の教育と厚生に資する。

2 学寮の規程は別に定める。

第15章 厚生施設

(厚生施設)

第54条 本学に厚生補導のための施設として医務室、相談室、食堂等を置く。

2 前項の運営に関し、必要な事項があるときは別に定める。

第16章 研修員、科目等履修生、聴講生及び外国人留学研究生

(研修員)

第55条 本学において本学の研究・教育の目的に沿い、特定の研究課題のもとに研究指導を受けることを希望する者がいるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、研修員としてこれを許可することができる。

2 研修員の研修費は、別表Ⅱに定める。

3 その他研修員に関する必要事項は、別にこれを定める。

(科目等履修生)

第56条 本学において特定の授業科目の履修及び単位の修得を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生には、本学則第26条及び第31条の規定を準用して、履修した授業科目の単位を与えることができる。

3 科目等履修生の選考料、登録料及び履修料は、別表Ⅱに定める。

4 その他科目等履修生に関する必要事項は、別にこれを定める。

(聴講生)

第56条の2 本学において特定の授業科目の聴講を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、聴講生としてこれを許可することができる。

2 聴講生の選考料、登録料及び聴講料は、別表Ⅱに定める。

3 その他聴講生に関する必要事項は、別にこれを定める。

(外国人留学研究生)

第56条の3 本学において研究指導を受けることを希望する外国人留学生があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、外国人留学研究生としてこれを許可することができる。

2 外国人留学研究生の選考料及び研究費等は、別表Ⅱに定める。

3 その他外国人留学研究生に関する必要事項は、別にこれを定める。

第17章 学費及びその他の費用

(学費)

第57条 学生は、学費を所定の期日までに納入しなければならない。

2 学費とは入学金、授業料及び施設費をいい、その額は別表Ⅱに定める。

3 前項に規定する学費の額は、改定することがある。

(その他の費用)

第58条 前条第2項に定める学費のほか、実験実習費その他教育に必要な費用を徴収することがある。

(納入期日)

第59条 学費は、毎年前期及び後期の2回に分け、次の期日までに納入しなければならない。

(1) 前期分 4月20日まで

(2) 後期分 9月30日まで

(延納)

第60条 経済的理由により修学が困難な学生は、学費の全額又は一部を延納することができる。延納を希望する者は、次に定める期日までにその事情を詳記し、保証人連署捺印の上、延納許可願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(1) 前期分 4月20日まで

(2) 後期分 9月30日まで

第61条 延納の許可を得た者は、次のいずれかの方法により納入しなければならない。

(1) 2回分納(2回に均等分割納入)

(2) 一括納入

第62条 延納の許可を得た者の最終納入期日は、次のとおりとする。

(1) 2回分納

前期分 第1回納入 6月15日まで

第2回納入 7月31日まで

後期分 第1回納入 11月30日まで

第2回納入 1月31日まで

(2) 一括納入

前期分 7月31日まで

後期分 1月31日まで

(学年の途中で卒業する場合の学費)

第63条 前期(9月30日付)をもって卒業する見込みの者は、前期分の学費を所定の期日までに納入しなければならない。

(退学の場合の学費)

第64条 学期の途中で退学する者の当該学期分の学費は、納入しなければならない。

(懲戒処分を受けた場合の学費)

第65条 停学期間中の学費は、納入しなければならない。

(学費の減免)

第65条の2 修業年限を超えて在学する者で、卒業に必要な単位が8単位以内の不足者は、授業料及び施設費の5割を減額する。

第66条 休学を許可され、又は命ぜられた者についての当該期間中の学費（入学金を除く。）は、全額を免除する。ただし、別表Ⅱに定める在籍料を納入しなければならない。

第67条 大谷大学短期大学部又は九州大谷短期大学を卒業し、大学へ編入学する者の学費は、入学金に限り、5万円を減額する。

2 再入学者の学費は、入学金に限り、5万円を減額する。

第68条 学生の保証人が天災又はこれに準ずる非常災害を受けた場合は、その実情を調査の上、学長は該当者の学費（入学金を除く。）を、免除又は減額することがある。

第68条の2 外国人留学生の学業を勸奨し、経済的負担を軽減することを目的に、学費の一部を減免することがある。

（学費等の不還付）

第69条 既納の検定料、学費等は、理由のいかんにかかわらず還付しない。ただし、授業料については別に定める。

第18章 公開講座

（公開講座）

第70条 学生並びに社会人の教養を高め、文化の向上に資するため本学に公開講座を開設することができる。

付 則

1 この学則は、1949年2月21日から施行する。

2 この学則は、1952年4月1日から施行する。

3 この学則は、1953年4月1日から施行する。

4 この学則は、1965年4月1日から施行する。

5 この学則は、1972年4月1日から施行する。

6 この学則は、1973年4月1日から施行する。

7 この学則は、1975年4月1日から施行する。

8 この学則は、1976年4月1日から施行する。

9 この学則は、1978年4月1日から施行する。

10 この学則は、1979年4月1日から施行する。

11 この学則は、1980年4月1日から施行する。

12 この学則は、1980年7月10日から施行する。

13 この学則は、1981年4月1日から施行する。

14 この学則は、1981年6月1日から施行する。

15 この学則は、1982年4月1日から施行する。

16 この学則は、1982年10月1日から施行する。

17 この学則は、1983年4月1日から施行する。

18 この学則は、1984年4月1日から施行する。

19 この学則は、1985年4月1日から施行する。

20 この学則は、1986年4月1日から施行する。

21 この学則は、1986年6月1日から施行する。

22 この学則は、1987年4月1日から施行する。

23 この学則は、1988年4月1日から施行する。

24 この学則は、1989年4月1日から施行する。

25 この学則は、1990年4月1日から施行する。

26 この学則は、1991年4月1日から施行する。

第3条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 科	真宗学科	仏教学科	哲 学 科	社会学科	史 学 科	文 学 科
入学定員	130人	130人	130人	130人	130人	130人

ただし、第20条については、1990年度入学生より適用する。

27 この学則は、1992年4月1日から施行する。

ただし、第18条、第19条及び第25条については、1992年度入学生及び1994年度編入学生から適用する。

28 この学則は、1993年4月1日から施行する。

第3条の規定にかかわらず、1993年度から1999年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 科	真 宗 学 科	仏 教 学 科	哲学科	社 会 学 科	史学科	文学科	国際文 化学科
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人	180人

29 この学則は、1994年4月1日から施行する。

ただし、第26条の2及び第26条の3については、1992年度入学生及び1994年度編入学生から適用する。

30 この学則は、1995年4月1日から施行する。

- 31 この学則は、1995年5月23日から施行する。（別表Ⅱ・入学検定料）
ただし、別表Ⅱ中授業料については、1996年4月1日から施行する。
- 32 この学則は、1996年4月1日から施行する。
- 33 この学則は、1997年4月1日から施行する。
ただし、第19条、第25条及び第26条の2については、1997年度入学生及び1999年度編入学生から適用する。
- 34 この学則は、1998年4月1日から施行する。
- 35 この学則は、1999年4月1日から施行する。
- 36 この学則は、2000年4月1日から施行する。
第3条の規定にかかわらず、2000年度から2004年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年度\学科	真宗 学科	仏教 学科	哲学 科	社会 学科	史 学 科	文 学 科	国際 文化 学科	人文 情報 学科
2000年度	92人	94人	98人	150人	98人	98人	100人	100人
2001年度	89人	88人	91人	150人	91人	91人	100人	100人
2002年度	86人	82人	84人	150人	84人	84人	100人	100人
2003年度	83人	76人	77人	150人	77人	77人	100人	100人
2004年度	80人	70人	70人	150人	70人	70人	100人	100人

- 37 この学則は、2001年4月1日から施行する。
- 38 この学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、第6条については、2002年6月1日から施行する。
- 39 この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 40 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 41 この学則は、2004年12月6日に一部改正し、2005年4月1日から施行する。別表Ⅱ中、研修費は2006年度新規受入の研修員から適用する。
- 42 この学則は、2005年3月17日に一部改正し、2005年4月1日から施行する。
ただし、第18条、第19条については、2005年度入学生及び2007年度編入学生から適用する。
- 43 この学則は、2005年9月21日に一部改正し、2006年4月1日から施行する。
- 44 この学則は、2006年3月23日に一部改正し、2006年4月1日から施行する。
- 45 この学則は、2006年12月7日に一部改正し、2007年4月1日から施行する。

- 46 この学則は、2007年3月23日に一部改正し、2007年4月1日から施行する。
- 47 この学則は、2007年3月23日に一部改正し、2008年4月1日から施行する。ただし、第3条、第19条、第20条については、2008年度入学生及び2010年度編入学生から適用する。
- 48 この学則は、2008年3月27日に一部改正し、2008年4月1日から施行する。
- 49 この学則は、2008年3月27日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、第3条、第19条、第20条の2については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。
- 50 この学則は、2008年7月25日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、第19条については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。
- 51 この学則は、2008年10月20日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。
- 52 この学則は、2009年3月25日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1（第18条関係）2 学科科目 (3) 哲学科、(4) 社会学科及び (9) 教育・心理学科、並びに別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）2 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（初等科）及び5 「社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目」については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。
- 53 この学則は、2009年5月25日に一部改正し、2010年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1（第18条関係）2 学科科目 (9) 教育・心理学科、並びに別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）1 「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（中等科）、2 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（初等科）については、2010年度入学生及び2012年度編入学生から適用する。
- 54 この学則は、2010年3月25日に一部改正し、2010年4月1日から施行する。
- 55 この学則は、2010年7月15日に一部改正し、2011年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）1 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（中等科）については、2011年度入学生及び2013年度編入学生から適用する。
- 56 この学則は、2011年3月15日に一部改正し、2011年4月1日から施行する。
- 57 この学則は、2011年10月12日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）5 博物館学に関する専門科目及び7 図書館学に関する専門科目については、2012年度入学生及び2012年度編入学生

から適用する。

58 この学則は、2012年3月27日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。

59 この学則は、2013年3月25日に一部改正し、2013年4月1日から施行する。ただし、第18条、第19条、第19条の2、並びに別表Ⅰ－1（第18条関係）及び別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）8 真宗大谷派教師資格に関する科目については、2013年度入学生及び2015年度編入学生から適用する。

60 この学則は、2014年3月24日に一部改正し、2014年4月1日から施行する。ただし、第20条の4、並びに別表Ⅰ－1（第18条関係）2 学科専門科目(9) 教育・心理学科及び別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）3 特別支援教育に関する科目については、2014年度入学生及び2016年度編入学生から適用する。

61 この学則は、2014年3月24日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。ただし、第18条別表Ⅰ－1 2 学科専門科目については、2015年度入学生及び2017年度編入学生から適用する。

62 この学則は、2014年5月23日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。

63 この学則は、2015年3月24日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1（第18条関係）2 学科専門科目(1)真宗学科、(2)仏教学科、(3)哲学科、(4)社会学科、(5)歴史学科、(7)国際文化学科及び(8)人文情報学科、並びに3 現代総合科目 キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系については、2015年度入学生及び2017年度編入学生から適用する。

64 この学則は、2016年3月24日に一部改正し、2016年4月1日から施行する。ただし、第20条並びに別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）1「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（中等科）及び2「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（初等科）については、2016年度入学生及び2018年度編入学生から適用する。

65 この学則は、2017年3月22日に一部改正し、2018年4月1日から施行する。ただし、第3条、第3条の2、第3条の3、第19条から第22条まで、第28条、第57条第3項、第65条の2、第67条、別表Ⅰ－1（第18条関係）、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）2「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（初等科）、3－1 保育士資格に関する科目、3－2 保育心理士に関する科目及び別表Ⅱについては、2018年度入学生及び2020年度編入学生から適用する。文学部社会学科、人文情報学科及び教育・心理学科は、2018年度から学生募集を停止する。文学部社会学科、人文情報学科及び教育・心理学科は、改正後の

第3条の3の規定にかかわらず、2018年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

別表Ⅰ－1（第18条関係）

文学部開設科目

1 共通基礎科目

(1) 総合科目

区分	科目名	単位	備考
総合科目	人間学Ⅰ	2	
〃	人間学Ⅱ	2	

(2) 大学導入

区分	科目名	単位	備考
大学導入	学びの発見	2	

(3) 必修外国語

区分	科目名	単位	備考
外国語Ⅰ	英語Ⅰ	1	
〃	ドイツ語Ⅰ	2	
〃	ドイツ語Ⅰ	1	
〃	フランス語Ⅰ	2	
〃	フランス語Ⅰ	1	
〃	中国語Ⅰ	2	
〃	中国語Ⅰ	1	
〃	韓国・朝鮮語Ⅰ	2	
〃	韓国・朝鮮語Ⅰ	1	
〃	日本語Ⅰ	2	外国人留学生に限る
〃	日本語Ⅰ	1	
外国語Ⅱ	英語Ⅱ	1	
〃	ドイツ語Ⅱ	2	
〃	ドイツ語Ⅱ	1	
〃	フランス語Ⅱ	2	

〃	フランス語Ⅱ	1	
〃	中国語Ⅱ	2	
〃	中国語Ⅱ	1	
〃	韓国・朝鮮語Ⅱ	2	
〃	韓国・朝鮮語Ⅱ	1	
〃	日本語Ⅱ	2	外国人留学生に限る
〃	日本語Ⅱ	1	

(4) 選択外国語

科目名	単位	備考
英語読解（中級）1	1	
英語読解（中級）2	1	
英語読解（中級）3	1	
英語読解（中級）4	1	
英作文（中級）1	1	
英作文（中級）2	1	
英文法（中級）1	1	
英文法（中級）2	1	
英語のしくみと表現（中級）1	1	
英語のしくみと表現（中級）2	1	
英語会話（中級）1	1	
英語会話（中級）2	1	
英語会話（中級）3	1	
英語会話（中級）4	1	
英語会話（中級）5	1	
英語会話（中級）6	1	
英語読解（上級）1	1	
英語読解（上級）2	1	
英語読解（上級）3	1	
英語読解（上級）4	1	
英語会話（上級）1	1	
英語会話（上級）2	1	

英語会話（上級）3	1	
英語会話（上級）4	1	
英作文（上級）1	1	
英作文（上級）2	1	
英文法（上級）1	1	
英文法（上級）2	1	
インテンシブ英会話（中級）1	4	
インテンシブ英会話（中級）2	4	
イギリス文化研究・実践英語	4	
カナダ文化研究・実践英語	4	
ドイツ語読解（初級）1	1	
ドイツ語読解（初級）2	1	
ドイツ語会話（初級）1	1	
ドイツ語会話（初級）2	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級）1	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級）2	1	
ドイツ語読解（中級）1	1	
ドイツ語読解（中級）2	1	
ドイツ語読解（上級）1	1	
ドイツ語読解（上級）2	1	
インテンシブドイツ語会話（初級）1	2	
インテンシブドイツ語会話（初級）2	2	
フランス語読解（初級）1	1	
フランス語読解（初級）2	1	
フランス語会話（初級）1	1	
フランス語会話（初級）2	1	
フランス語読解（中級）1	1	
フランス語読解（中級）2	1	
フランス語会話（中級）1	1	
フランス語会話（中級）2	1	
フランス語のしくみと表現（中級）	1	
フランス語のしくみと表現（上級）	1	

フランス語のしくみと表現（初級） 1	2	
フランス語のしくみと表現（初級） 2	2	
中国語読解（初級） 1	1	
中国語読解（初級） 2	1	
中国語読解（初級） 3	1	
中国語読解（初級） 4	1	
中国語会話（初級） 1	1	
中国語会話（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 3	1	
中国語会話（初級） 4	1	
中国語のしくみと表現（初級） 1	1	
中国語のしくみと表現（初級） 2	1	
中国語読解（中級） 1	1	
中国語読解（中級） 2	1	
中国語会話（中級） 1	1	
中国語会話（中級） 2	1	
中国語のしくみと表現（中級） 1	1	
中国語のしくみと表現（中級） 2	1	
中国語会話（上級） 1	1	
中国語会話（上級） 2	1	
中国文化事情・実践中国語 1	4	
中国文化事情・実践中国語 2	4	
韓国・朝鮮語読解（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語読解（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語会話（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語会話（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語読解（中級） 1	1	
韓国・朝鮮語読解（中級） 2	1	
韓国・朝鮮語会話（中級） 1	1	
韓国・朝鮮語会話（中級） 2	1	

韓国・朝鮮語読解（上級） 1	1	
韓国・朝鮮語読解（上級） 2	1	
韓国文化研究・実践韓国語	4	

2 学科専門科目

(1) 真宗学科

科目名	単位	備考
専門の技法＜真宗学＞	2	
真宗学演習Ⅰ	2	
真宗学演習Ⅱ	2	
真宗学演習Ⅲ	2	
真宗学演習Ⅳ	2	
真宗学概論 1	2	
真宗学概論 2	2	
真宗学概論 3	2	
真宗学概論 4	2	
親鸞の生涯と思想	2	
親鸞思想の受容と展開	2	
曇鸞の生涯と思想	2	
善導の生涯と思想	2	
法然の生涯と思想	2	
近代真宗教学論	2	
『教行信証』論	2	
『歎異抄』論	2	
大乘仏教概説	2	
真宗と諸宗教	2	
日本仏教思想史 1	2	
日本仏教思想史 2	2	
現代と真宗	2	
真宗学特殊講義 1	2	
真宗学特殊講義 2	2	
真宗学特殊講義 3	2	

真宗学特殊講義 4	2	
浄土教史概説	2	
真宗教団史	2	
近代教学史	2	
真宗典籍研究	2	
宗教学概説	2	
宗教史概論 1	2	
宗教史概論 2	2	
教行信証<総序・教巻>を読む	2	
教行信証<行巻>を読む	2	
教行信証<信巻>を読む	2	
教行信証<証巻>を読む	2	
教行信証<真仏土巻>を読む	2	
教行信証<化身土巻>を読む	2	
無量寿経を読む	2	
観無量寿経を読む	2	
阿弥陀経を読む	2	
浄土論註を読む	2	
観経疏を読む	2	
正信偈を読む	2	
真宗学特殊演習 1	2	
真宗学特殊演習 2	2	
真宗学特殊演習 3	2	
真宗学特殊演習 4	2	
真宗学特殊演習 5	2	
真宗学特殊演習 6	2	
卒業研究	8	

(2) 仏教学科

科目名	単位	備考
専門の技法<仏教学>	2	
仏教学演習 I	2	

仏教学演習 II	2	
仏教学演習 III	2	
仏教学演習 IV	2	
仏教学概論 1	2	
仏教学概論 2	2	
仏教学概論 3	2	
仏教学概論 4	2	
現代仏教論	2	
仏教文化美術論	2	
仏教テキスト論	2	
インド仏教思想史 1	2	
インド仏教思想史 2	2	
中国仏教思想史 1	2	
中国仏教思想史 2	2	
日本仏教思想史 1	2	
日本仏教思想史 2	2	
インド哲学	2	
チベット仏教	2	
死生学	2	
仏教心理学	2	
仏教と社会	2	
仏教神話学	2	
仏教学特殊講義 1	2	
仏教学特殊講義 2	2	
仏教学特殊講義 3	2	
仏教学特殊講義 4	2	
宗教学概説	2	
宗教史概論 1	2	
宗教史概論 2	2	
仏教学基礎演習	2	
現代仏教演習	2	

文化美術演習	2	
仏教思想演習	2	
仏伝を読む	2	
浄土経典を読む	2	
法華経を読む	2	
仏教学特殊演習 1	2	
仏教学特殊演習 2	2	
仏教学特殊演習 3	2	
仏教学特殊演習 4	2	
漢文文献演習 1	2	
漢文文献演習 2	2	
パーリ語文献演習 1	2	
パーリ語文献演習 2	2	
パーリ語文献演習 3	2	
パーリ語文献演習 4	2	
サンスクリット語文献演習 1	2	
サンスクリット語文献演習 2	2	
サンスクリット語文献演習 3	2	
サンスクリット語文献演習 4	2	
チベット語文献演習 1	2	
チベット語文献演習 2	2	
パーリ語	1	
サンスクリット語入門	1	
サンスクリット語	1	
チベット語入門	1	
チベット語	1	
卒業研究	8	

(3) 哲学科

科目名	単位	備考
専門の技法<哲学>	2	

哲学科演習 I	2	
哲学科演習 II	2	
哲学科演習 III	2	
哲学科演習 IV	2	
哲学概論 1	2	
哲学概論 2	2	
倫理学概論 1	2	
倫理学概論 2	2	
宗教学概論 1	2	
宗教学概論 2	2	
西洋哲学史(古代) 1	2	
西洋哲学史(古代) 2	2	
西洋哲学史(中世) 1	2	
西洋哲学史(中世) 2	2	
西洋哲学史(近世) 1	2	
西洋哲学史(近世) 2	2	
日本哲学	2	
人間関係学	2	
死生学	2	
生命倫理	2	
論理学 1	2	
論理学 2	2	
宗教史 1	2	
宗教史 2	2	
キリスト教学 1	2	
キリスト教学 2	2	
哲学科特殊講義 1	2	
哲学科特殊講義 2	2	
哲学科特殊講義 3	2	
哲学科特殊講義 4	2	
哲学科特殊講義 5	2	
哲学科特殊講義 6	2	

哲 学 科 特 殊 講 義 7	2	
哲 学 科 特 殊 講 義 8	2	
人 文 地 理 学 1	2	
人 文 地 理 学 2	2	
人 文 地 理 学 3	2	
人 文 地 理 学 4	2	
世 界 地 誌 学 1	2	
世 界 地 誌 学 2	2	
世 界 地 誌 学 3	2	
世 界 地 誌 学 4	2	
法 学 概 論 1	2	
法 学 概 論 2	2	
政 治 学 概 論 1	2	
政 治 学 概 論 2	2	
国 際 関 係 論 1	2	
国 際 関 係 論 2	2	
国 際 政 治 学 1	2	
国 際 政 治 学 2	2	
ギ リ シ ャ 語 入 門 1	1	
ギ リ シ ャ 語 入 門 2	1	
ラ テ ン 語 入 門 1	1	
ラ テ ン 語 入 門 2	1	
ギ リ シ ャ 哲 学 文 献 を 読 む 1	2	
ギ リ シ ャ 哲 学 文 献 を 読 む 2	2	
英 米 哲 学 文 献 を 読 む 1	2	
英 米 哲 学 文 献 を 読 む 2	2	
ド イ ツ 哲 学 文 献 を 読 む 1	2	
ド イ ツ 哲 学 文 献 を 読 む 2	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 2	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 3	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 4	2	

哲 学 科 特 殊 演 習 5	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 6	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 7	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 8	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 9	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 0	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 1	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 2	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 3	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 4	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 5	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 6	2	
卒 業 研 究	8	

(4) 歴史学科

科 目 名	単 位	備 考
専 門 の 技 法 < 歴 史 学 >	2	
歴 史 学 演 習 I	2	
歴 史 学 演 習 II	2	
歴 史 学 演 習 III	2	
歴 史 学 演 習 IV	2	
日 本 史 学 概 論 1	2	
日 本 史 学 概 論 2	2	
東 洋 史 学 概 論 1	2	
東 洋 史 学 概 論 2	2	
西 洋 史 学 概 論 1	2	
西 洋 史 学 概 論 2	2	
日 本 古 代 史 講 義 1	2	
日 本 古 代 史 講 義 2	2	
日 本 中 世 史 講 義 1	2	
日 本 中 世 史 講 義 2	2	
日 本 近 世 史 講 義 1	2	

日本近世史講義 2	2	
日本近代史講義 1	2	
日本近代史講義 2	2	
中国古代史講義 1	2	
中国古代史講義 2	2	
中国中世史講義 1	2	
中国中世史講義 2	2	
中国近世・近代史講義 1	2	
中国近世・近代史講義 2	2	
歴史学特殊講義 1	2	
歴史学特殊講義 2	2	
歴史学特殊講義 3	2	
歴史学特殊講義 4	2	
歴史学特殊講義 5	2	
歴史学特殊講義 6	2	
日本民俗学	2	
中国仏教史	2	
日本仏教史	2	
真宗史	2	
仏教文化史	2	
文化交流史	2	
世界遺産論	2	
京都の歴史と文化	2	
歴史地理学 1	2	
歴史地理学 2	2	
考古学 1	2	
考古学 2	2	
美術史 1	2	
美術史 2	2	
古文書学概論 1	2	
古文書学概論 2	2	
建築史 1	2	

建築史 2	2	
博物館概論	2	
博物館資料論	2	
文化財概論	2	
文化財調査・分析論	2	
文化財保存科学論	2	
文化財修復論	2	
文化財映像化論	2	
人文地理学 1	2	
人文地理学 2	2	
人文地理学 3	2	
人文地理学 4	2	
世界地誌学 1	2	
世界地誌学 2	2	
世界地誌学 3	2	
世界地誌学 4	2	
法学概論 1	2	
法学概論 2	2	
政治学概論 1	2	
政治学概論 2	2	
国際関係論 1	2	
国際関係論 2	2	
国際政治学 1	2	
国際政治学 2	2	
歴史学基礎演習	2	
日本古代史料を読む 1	2	
日本古代史料を読む 2	2	
日本中世史料を読む 1	2	
日本中世史料を読む 2	2	
日本近世史料を読む 1	2	
日本近世史料を読む 2	2	
日本近代史料を読む 1	2	

日本近代史料を読む 2	2	
中国古代史料を読む 1	2	
中国古代史料を読む 2	2	
中国中世史料を読む 1	2	
中国中世史料を読む 2	2	
中国近世・近代史料を読む 1	2	
中国近世・近代史料を読む 2	2	
交流史料を読む 1	2	
交流史料を読む 2	2	
交流史料を読む 3	2	
交流史料を読む 4	2	
古文書解読法 1	4	
古文書解読法 2	4	
古文書演習 1	2	
古文書演習 2	2	
漢文と情報処理	2	
情報と歴史学	2	
歴史学特殊演習 1	2	
歴史学特殊演習 2	2	
歴史学特殊演習 3	2	
歴史学特殊演習 4	2	
文化財調査演習 1	2	
文化財調査演習 2	2	
文化財調査演習 3	2	
文化財調査演習 4	2	
博物館等施設演習 1	2	
博物館等施設演習 2	2	
普及・教育演習 1	2	
普及・教育演習 2	2	
展示実習	2	
卒業研究	8	

(5) 文学科

科目名	単位	備考
専門の技法＜文学＞	2	
文学科演習Ⅰ	2	
国文学演習Ⅱ	2	
国文学演習Ⅲ	2	
国文学演習Ⅳ	2	
国文学概論 1	2	
国文学概論 2	2	
国語学概論 1	2	
国語学概論 2	2	
日本文学の歴史 1	2	
日本文学の歴史 2	2	
上代文学 1	2	
上代文学 2	2	
中古文学 1	2	
中古文学 2	2	
中世文学 1	2	
中世文学 2	2	
近世文学 1	2	
近世文学 2	2	
近現代文学 1	2	
近現代文学 2	2	
文章表現学 1	2	
文章表現学 2	2	
国文法の研究 1	2	
国文法の研究 2	2	
日本語特殊講義 1	2	
日本語特殊講義 2	2	
上代文学を読む 1	2	
上代文学を読む 2	2	
中古文学を読む 1	2	
中古文学を読む 2	2	
中世文学を読む 1	2	
中世文学を読む 2	2	
近世文学を読む 1	2	
近世文学を読む 2	2	

近現代文学を読む 1	2	
近現代文学を読む 2	2	
近現代文学を読む 3	2	
近現代文学を読む 4	2	
古典文学特殊演習 1	2	
古典文学特殊演習 2	2	
鑑賞日本の古典文学 1	2	
鑑賞日本の古典文学 2	2	
日本古典文法 1	1	
日本古典文法 2	1	
中国文学演習 II	2	
中国文学演習 III	2	
中国文学演習 IV	2	
中国文学概論 1	2	
中国文学概論 2	2	
中国語学概論 1	2	
中国語学概論 2	2	
中国文学史 1	2	
中国文学史 2	2	
中国文学史 3	2	
中国文学史 4	2	
中国思想史 1	2	
中国思想史 2	2	
中国言語学史 1	2	
中国言語学史 2	2	
中国の書物と印刷術 1	2	
中国の書物と印刷術 2	2	
中国文学特殊講義 1	2	
中国文学特殊講義 2	2	
中国の詩を読む 1	2	
中国の詩を読む 2	2	
中国の散文作品を読む 1	2	
中国の散文作品を読む 2	2	
中国の近現代文を読む 1	2	
中国の近現代文を読む 2	2	
思想文献を読む 1	2	
思想文献を読む 2	2	

中国文学特殊演習 1	2	
中国文学特殊演習 2	2	
漢文訓読法 1	1	
漢文訓読法 2	1	
英文学演習 II	2	
英文学演習 III	2	
英文学演習 IV	2	
英文学概論 1	2	
英文学概論 2	2	
英語学概論 1	2	
英語学概論 2	2	
西洋文学の源流 1	2	
西洋文学の源流 2	2	
比較文化講義 1	2	
比較文化講義 2	2	
英米の文化 1	2	
英米の文化 2	2	
英語のしくみ 1	2	
英語のしくみ 2	2	
アメリカの小説 1	2	
アメリカの小説 2	2	
イギリスの小説 1	2	
イギリスの小説 2	2	
英米文学特殊講義 1	2	
英米文学特殊講義 2	2	
西ヨーロッパの文化 1	2	
西ヨーロッパの文化 2	2	
英語コミュニケーション演習 1	2	
英語コミュニケーション演習 2	2	
英語コミュニケーション演習 3	2	
英語コミュニケーション演習 4	2	
英米の詩と演劇を読む 1	2	
英米の詩と演劇を読む 2	2	
英米文学特殊演習 1	2	
英米文学特殊演習 2	2	
ドイツ文学演習 II	2	
ドイツ文学演習 III	2	

ドイツ文学演習Ⅳ	2	
ドイツ文学概論 1	2	
ドイツ文学概論 2	2	
ドイツ語学概論 1	2	
ドイツ語学概論 2	2	
西洋文学の源流 1	2	
西洋文学の源流 2	2	
ドイツ詩人とその世界 1	2	
ドイツ詩人とその世界 2	2	
ドイツ近現代文学 1	2	
ドイツ近現代文学 2	2	
ドイツ文学特殊講義 1	2	
ドイツ文学特殊講義 2	2	
ドイツ文学特殊講義 3	2	
ドイツ文学特殊講義 4	2	
ドイツ文学読解 1	2	
ドイツ文学読解 2	2	
ドイツ文学特殊演習 1	2	
ドイツ文学特殊演習 2	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 1	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 2	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 3	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 4	2	
卒業研究	8	

(6) 国際文化学科

科目名	単位	備考
専門の技法<国際文化学>	2	
国際文化演習Ⅰ	2	
国際文化演習Ⅱ	2	
国際文化演習Ⅲ	2	
国際文化演習Ⅳ	2	
国際文化概論 1	2	
国際文化概論 2	2	
国際文化概論 3	2	

比較文化講義 1	2	
比較文化講義 2	2	
近代日本と西洋 1	2	
近代日本と西洋 2	2	
英米の文化 1	2	
英米の文化 2	2	
英米の文化 3	2	
英米の文化 4	2	
英米の文化 5	2	
英米の文化 6	2	
英語学概論 1	2	
英語学概論 2	2	
英語のしくみ 1	2	
英語のしくみ 2	2	
西ヨーロッパの文化 1	2	
西ヨーロッパの文化 2	2	
東アジアの文化 1	2	
東アジアの文化 2	2	
南アジアの文化 1	2	
南アジアの文化 2	2	
アジア社会論	2	
日本ポップカルチャー論	2	
環境文明論 1	2	
環境文明論 2	2	
環境と文化 1	2	
環境と文化 2	2	
国際文化特殊講義 1	2	
国際文化特殊講義 2	2	
国際文化特殊講義 3	2	
国際文化特殊講義 4	2	
国際文化特殊講義 5	2	
英語基礎演習	2	

英語コミュニケーション演習 1	2	
英語コミュニケーション演習 2	2	
英語コミュニケーション演習 3	2	
英語コミュニケーション演習 4	2	
英語コミュニケーション演習 5	2	
英語コミュニケーション演習 6	2	
英語コミュニケーション演習 7	2	
英語コミュニケーション演習 8	2	
英語コミュニケーション演習 9	2	
英語コミュニケーション演習 10	2	
英語コミュニケーション演習 11	2	
英語コミュニケーション演習 12	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 1	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 2	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 3	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 4	2	
フランス語コミュニケーション演習 1	2	
フランス語コミュニケーション演習 2	2	
フランス語コミュニケーション演習 3	2	
フランス語コミュニケーション演習 4	2	
サンスクリット語文献演習 1	2	
サンスクリット語文献演習 2	2	
サンスクリット語文献演習 3	2	
サンスクリット語文献演習 4	2	
チベット語文献演習 1	2	
チベット語文献演習 2	2	
中国語コミュニケーション演習 1	2	
中国語コミュニケーション演習 2	2	
中国語コミュニケーション演習 3	2	
中国語コミュニケーション演習 4	2	
韓国・朝鮮文化演習 1	2	
韓国・朝鮮文化演習 2	2	

表現文化演習 1	2	
表現文化演習 2	2	
野外調査演習 1	2	
野外調査演習 2	2	
サンスクリット語入門	1	
サンスクリット語	1	
チベット語入門	1	
チベット語	1	
ヒンディー語	1	
卒業研究	8	

3 現代総合科目

キャリア形成系

科目名	単位	備考
図書の文化 1	2	
図書の文化 2	2	
日本国憲法 1	2	
日本国憲法 2	2	
日本国憲法 3	2	
社会政策	2	
社会福祉概論	2	
生活問題論	2	
家庭福祉論	2	
市民活動論	2	
ボランティア論	2	
社会福祉発達史	2	
発想から表現へ	2	
思考法入門	2	
日本語表現（入門）1	2	
日本語表現（入門）2	2	
日本語表現（実践）	2	
読んで話そう	2	

自己表現の技法	2	
文藝塾講義 1	2	
文藝塾講義 2	2	
文藝塾演習 1	2	
文藝塾演習 2	2	
探究基礎演習	2	
インターンシップ1大学コンソ京都	2	
インターンシップ2大谷大学	2	
インターンシップ3学校(教職)	2	
キャリアデザイン概論 1	2	
キャリアデザイン概論 2	2	
キャリアデザイン実践 1	2	
キャリアデザイン実践 2	2	
デジタル人文学概論	2	
情報科学	2	
情報メディアと社会	2	
人文学とコンピュータ	2	
デジタル時代の知的財産権	2	
ワード・プロセッシング入門	2	
ワード・プロセッシング応用	2	
PC利用による表計算入門	2	
PC利用による表計算応用	2	
PC利用によるプレゼンテーション	2	
PC利用によるレポート・論文技法	2	
画像処理入門	2	
画像処理応用	2	
PCミュージック入門	2	
PCミュージック応用	2	
Webサイト構築入門	2	
Webサイト構築応用	2	
人文学データベース入門	2	

自然生命系

科目名	単位	備考
自然地理学 1	2	
自然地理学 2	2	
看取りをめぐる諸問題	2	
星の世界 1	2	
星の世界 2	2	
生命のしくみと多様性	2	
自然と生物の科学	2	
地震と火山 1	2	
地震と火山 2	2	
地球科学 1	2	
地球科学 2	2	
惑星科学 1	2	
惑星科学 2	2	
地球環境と生命の共進化	2	
化石の科学	2	
こころの科学	2	
人間理解の心理学	2	
人間関係の心理学 1	2	
人間関係の心理学 2	2	
行動の科学 1	2	
行動の科学 2	2	
スポーツと健康の科学 1	2	
スポーツと健康の科学 2	2	
犯罪心理学	2	
脳とこころ	2	
からだの科学	2	
障害者スポーツ論	2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	
スポーツ研究演習 I	2	
障害者スポーツ研究演習 I	2	

スポーツ研究演習Ⅱ	2	
障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2	
カウンセリング	2	
健康心理学	2	
コミュニケーションの心理学	2	
身体活動Ⅰ	1	
身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1	
身体活動Ⅱ	1	
身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1	
人間関係と身体表現	2	
障害者・病者と共に生きる	2	

歴史文化系

科目名	単位	備考
ドイツの言語文化 1	2	
ドイツの言語文化 2	2	
ドイツの歴史と文学 1	2	
ドイツの歴史と文学 2	2	
ドイツの民衆文化 1	2	
ドイツの民衆文化 2	2	
フランスの言語文化 1	2	
フランスの言語文化 2	2	
フランスの歴史と文学 1	2	
フランスの歴史と文学 2	2	
フランスの民衆文化 1	2	
フランスの民衆文化 2	2	
中国の言語文化 1	2	
中国の言語文化 2	2	
中国の歴史と文学 1	2	
中国の歴史と文学 2	2	
中国の民衆文化 1	2	
中国の民衆文化 2	2	

ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	2	
ヨーロッパの宗教と文化（フランス）	2	
ヒマラヤの祈り	2	
チベットを見た日本人たち	2	
モンゴル草原の祈り	2	
朝鮮半島の美術	2	
現代朝鮮半島事情	2	
現代東南アジア事情	2	
東南アジアの宗教文化	2	
インドの神々	2	
インドの美術	2	
漢字の世界	2	
近代日本とアジア	2	
東アジアの宗教文化	2	
古都の歴史と文化	2	
仏教と美術	2	
インドの宗教と文化	2	
中国の宗教と文化	2	
人と文化	2	
人と社会	2	
人と宗教	2	
教育学 1	2	
教育学 2	2	
大学での学びを知る	2	
芸術表現	2	
書道	2	
ブッダに学ぶ	2	
親鸞に学ぶ	2	
部落差別と大谷派教団 1	2	
部落差別と大谷派教団 2	2	
部落差別と浄土真宗 1	2	
部落差別と浄土真宗 2	2	

部 落 史 論 1	2	
部 落 史 論 2	2	
反 カ ー ス ト 運 動 論	2	
ア イ ヌ 民 族 と 共 に	2	
ア ジ ア 侵 略 と 宗 教	2	
ジ ェ ン ダ ー 論	2	
非 戦 の 系 譜	2	
仏 教 福 祉 論	2	

社会学部開設科目

1 共通基礎科目

(1) 総合科目

区 分	科 目 名	単 位	備 考
総合科目	人 間 学 I	2	
〃	人 間 学 II	2	

(2) 大学導入

区 分	科 目 名	単 位	備 考
大学導入	学 び の 発 見	2	

(3) 必修外国語

区 分	科 目 名	単 位	備 考
外国語 I	英 語 I	1	
〃	日 本 語 I	2	外国人 留学生 に限る
〃	日 本 語 I	1	
外国語 II	英 語 II	1	
〃	日 本 語 II	2	外国人 留学生 に限る
〃	日 本 語 II	1	

2 学科専門科目

(1) 現代社会学科

科 目 名	単 位	備 考
社 会 学 演 習 I	2	
社 会 学 演 習 II	2	
社 会 学 演 習 III	2	
社 会 学 演 習 IV	2	
仏 教 社 会 論	2	
社 会 学 概 論	2	
現 代 社 会 基 礎	2	
社 会 学 入 門	2	
現 代 社 会 論	2	
人 間 関 係 論	2	
心 理 学 基 礎	2	
現 代 家 族 論	2	
ジ ェ ン ダ ー と 社 会	2	
比 較 心 理 学	2	
社 会 心 理 学	2	
現代社会とコミュニケーション	2	
教 育 社 会 学	2	
個 人 と 公 共	2	
社 会 問 題 論	2	
地 域 社 会 論	2	
地 域 福 祉 論 1	2	
地 域 福 祉 論 2	2	
環 境 社 会 学	2	
グ ロー バ リ ゼ ー シ ョ ン 論	2	
市 民 活 動 論	2	
ボ ラ ン テ ィ ア 論	2	
地 方 自 治 論	2	
犯 罪 と 社 会	2	
現 代 文 化 論	2	
文 化 社 会 学	2	

観 光 社 会 学	2	
宗 教 と 社 会	2	
大 衆 文 化 論	2	
ス ポ ー ツ と 社 会	2	
消 費 社 会 論	2	
文 化 人 類 学	2	
ア ジ ア 社 会 論	2	
情 報 と 倫 理	2	
情 報 社 会 論	2	
情 報 技 術 論	2	
社 会 思 想 史	2	
社 会 学 史	2	
社 会 調 査 論	2	
社 会 統 計 基 礎	2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 技 法 基 礎	2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 1	2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 2	2	
探 究 フ ィ ー ル ド ワ ー ク 1	2	
探 究 フ ィ ー ル ド ワ ー ク 2	2	
ソ ー シ ャ ル ・ ド キ ュ メ ン ト 分 析 1	2	
ソ ー シ ャ ル ・ ド キュ メ ン ト 分 析 2	2	
社 会 統 計 演 習 1	2	
社 会 統 計 演 習 2	2	
メ デ ィ ア ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 分 析 1	2	
メ デ ィ ア ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 分 析 2	2	
社 会 学 文 献 講 読 (人 間 関 係) 1	2	
社 会 学 文 献 講 読 (人 間 関 係) 2	2	
社 会 学 文 献 講 読 (公 共 社 会) 1	2	
社 会 学 文 献 講 読 (公 共 社 会) 2	2	
社 会 学 文 献 講 読 (現 代 文 化) 1	2	
社 会 学 文 献 講 読 (現 代 文 化) 2	2	

エスノグラフィ講読・作成1	2	
エスノグラフィ講読・作成2	2	
文化人類学文献講読1	2	
文化人類学文献講読2	2	
社会情報学文献講読1	2	
社会情報学文献講読2	2	
社会心理学文献講読1	2	
社会心理学文献講読2	2	
卒 業 研 究	8	

(2) コミュニティデザイン学科

科 目 名	単 位	備 考
コミュニティデザイン演習Ⅰ	2	
コミュニティデザイン演習Ⅱ	2	
コミュニティデザイン演習Ⅲ	2	
コミュニティデザイン演習Ⅳ	2	
仏 教 社 会 論	2	
社 会 学 概 論	2	
コミュニティデザイン概論	2	
公 共 政 策 概 論 1	2	
公 共 政 策 概 論 2	2	
社 会 情 報 学 概 論 1	2	
社 会 情 報 学 概 論 2	2	
現 代 社 会 と 福 祉 1	2	
現 代 社 会 と 福 祉 2	2	
ポ ラ ン テ ィ ア 論	2	
現 代 社 会 論	2	
生 活 問 題 論	2	
社 会 政 策 論	2	
メ デ ィ ア と 市 民 社 会	2	
市 民 活 動 論	2	
現 代 社 会 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2	
社 会 調 査 論	2	

宗 教 と 社 会	2	
情 報 と 倫 理	2	
情 報 社 会 論	2	
地 域 と 経 済	2	
非営利組織マネジメント論	2	
コミュニティ形成論	2	
ソーシャルビジネス論	2	
地 域 と 環 境	2	
犯 罪 と 社 会	2	
地 方 自 治 論	2	
地 域 社 会 論	2	
現 代 家 族 論	2	
グローバリゼーション論	2	
社 会 問 題 論	2	
情 報 技 術 論	2	
コミュニティプランニング論	2	
情報マーケティング論	2	
社 会 福 祉 発 達 史	2	
災 害 と 防 災	2	
タ ー ミ ナ ル ケ ア 論	2	
高 齢 者 福 祉	2	
障 害 者 福 祉	2	
児 童 福 祉	2	
社 会 保 障 論 1	2	
社 会 保 障 論 2	2	
地 域 福 祉 論 1	2	
地 域 福 祉 論 2	2	
心 理 学	2	
社 会 学	2	
医 学 一 般	2	
社 会 福 祉 調 査 論	2	

介 護 概 論	2	
公 的 扶 助 論	2	
就 労 支 援	1	
司 法 福 祉 論	1	
福 祉 行 財 政 と 福 祉 計 画	2	
社 会 福 祉 施 設 経 営 論	2	
保 健 医 療 サ ー ビ ス 論	2	
権 利 擁 護 と 成 年 後 見 制 度	2	
相 談 援 助 の 基 盤 と 専 門 職 1	2	
相 談 援 助 の 基 盤 と 専 門 職 2	2	
相 談 援 助 の 理 論 と 方 法 1	2	
相 談 援 助 の 理 論 と 方 法 2	2	
相 談 援 助 の 理 論 と 方 法 3	2	
相 談 援 助 の 理 論 と 方 法 4	2	
プ ロ ジ ェ ク ト 研 究 入 門 I	2	
プ ロ ジ ェ ク ト 研 究 入 門 II	2	
プ ロ ジ ェ ク ト 研 究 実 践 I	4	
プ ロ ジ ェ ク ト 研 究 実 践 II	4	
プ ロ ジ ェ ク ト 研 究 実 践 III	4	
プ ロ ジ ェ ク ト 研 究 実 践 IV	4	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 1	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 2	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 3	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 4	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 5	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導 I	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導 II	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導 III	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習	4	
社 会 福 祉 学 特 殊 演 習 I	2	
社 会 福 祉 学 特 殊 演 習 II	2	

卒業研究	8	
------	---	--

3 現代総合科目

キャリア形成系

科目名	単位	備考
日本国憲法 1	2	
日本国憲法 2	2	
日本国憲法 3	2	
発想から表現へ	2	
思考法入門	2	
日本語表現（入門）1	2	
日本語表現（入門）2	2	
日本語表現（実践）	2	
探究基礎演習	2	
ポルトガル語圏のくらしと言葉1	2	
ポルトガル語圏のくらしと言葉2	2	
インターンシップ1 大学コンソ京都	2	
インターンシップ2 大谷大学	2	
キャリアデザイン概論 1	2	
キャリアデザイン概論 2	2	
キャリアデザイン実践 1	2	
キャリアデザイン実践 2	2	
ワード・プロセッシング入門	2	
ワード・プロセッシング応用	2	
PC利用による表計算入門	2	
PC利用による表計算応用	2	
PC利用によるプレゼンテーション	2	
PC利用によるレポート・論文技法	2	
画像処理入門	2	
画像処理応用	2	
PCミュージック入門	2	
PCミュージック応用	2	

Webサイト構築入門	2	
Webサイト構築応用	2	

自然生命系

科目名	単位	備考
生命のしくみと多様性	2	
自然と生物の科学	2	
地震と火山 1	2	
地震と火山 2	2	
地球科学 1	2	
地球科学 2	2	
地球環境と生命の共進化	2	
こころの科学	2	
人間理解の心理学	2	
スポーツと健康の科学 1	2	
スポーツと健康の科学 2	2	
脳とこころ	2	
障害者スポーツ論	2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	
スポーツ研究演習 I	2	
障害者スポーツ研究演習 I	2	
スポーツ研究演習 II	2	
障害者スポーツ研究演習 II	2	
カウンセリング	2	
身体活動 I	1	
身体活動 I（障害者スポーツ）	1	
身体活動 II	1	
身体活動 II（障害者スポーツ）	1	
人間関係と身体表現	2	
障害者・病者と共に生きる	2	

歴史文化系

科目名	単位	備考
ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	2	
ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	2	
現代朝鮮半島事情	2	
現代東南アジア事情	2	
東南アジアの宗教文化	2	
近代日本とアジア	2	
東アジアの宗教文化	2	
古都の歴史と文化	2	
仏教と美術	2	
インドの宗教と文化	2	
中国の宗教と文化	2	
人と文化	2	
教育学 1	2	
教育学 2	2	
ブッダに学ぶ	2	
親鸞に学ぶ	2	
部落差別と大谷派教団 1	2	
部落差別と大谷派教団 2	2	
部落差別と浄土真宗 1	2	
部落差別と浄土真宗 2	2	
部落史論 1	2	
部落史論 2	2	
反カースト運動論	2	
アイヌ民族と共に	2	
アジア侵略と宗教	2	
非戦の系譜	2	
仏教福祉論	2	

教育学部開設科目

1 共通基礎科目

(1) 総合科目

区分	科目名	単位	備考
総合科目	人間学Ⅰ	2	
〃	人間学Ⅱ	2	

(2) 大学導入

区分	科目名	単位	備考
大学導入	学びの発見	2	

(3) 必修外国語

区分	科目名	単位	備考
外国語Ⅰ	英語Ⅰ	1	
〃	日本語Ⅰ	2	外国人留学生に限る
〃	日本語Ⅰ	1	
外国語Ⅱ	英語Ⅱ	1	
〃	日本語Ⅱ	2	外国人留学生に限る
〃	日本語Ⅱ	1	

2 学科専門科目

(1) 教育学科 初等教育コース

科目名	単位	備考
小学校教育学演習Ⅰ	2	
小学校教育学演習Ⅱ	2	
小学校教育学演習Ⅲ	2	
小学校教育学演習Ⅳ	2	
教育原論(小)	2	
仏教と教育(初等)	2	
教育学概論Ⅰ	2	
教育学概論Ⅱ	2	
特別支援教育概論(初等)	2	
教育人間学Ⅰ	2	
教育人間学Ⅱ	2	

教職入門（小）	2	
教育心理学（小）	2	
発達心理学（小）	2	
教育社会学（小）	2	
教育行財政学（小）	2	
教育課程論（小）	2	
特別活動論（小）	2	
教育方法論（小）	2	
生徒・進路指導論（小）	2	
教育相談（小）	2	
こども教育史Ⅰ	2	
こども教育史Ⅱ	2	
探求ゼミ（算数）Ⅰ	2	
探求ゼミ（算数）Ⅱ	2	
探求ゼミ（算数）Ⅲ	2	
探求ゼミ（理科）Ⅰ	2	
探求ゼミ（理科）Ⅱ	2	
探求ゼミ（理科）Ⅲ	2	
授業心理学	2	
こどもの描画分析	2	
教室の心理学	2	
障害のある子どもたち（初等）	2	
障害児の教育（初等）	2	
特別支援教育実践論（初等）	2	
防災・安全教育（初等）	2	
I C T 教育	2	
実践体験活動演習（小）Ⅰ	2	
実践体験活動演習（小）Ⅱ	2	
初等科教育法（国語）	2	
初等科教育法（社会）	2	
初等科教育法（算数）	2	

初等科教育法（理科）	2	
初等科教育法（生活）	2	
初等科教育法（音楽）	2	
初等科教育法（図画工作）	2	
初等科教育法（家庭）	2	
初等科教育法（体育）	2	
初等科教育法（外国語活動）	2	
道徳教育の理論と方法（小）	2	
教科（国語）	2	
教科（社会）	2	
教科（算数）	2	
教科（理科）	2	
教科（生活）	2	
教科（音楽）	2	
教科（図画工作）	2	
教科（家庭）	2	
教科（体育）	2	
教科（外国語活動）	2	
教育実習指導（小）	1	
教育実習Ⅰ（小）	4	
教育実習Ⅱ（小）	2	
教職実践演習（小）	2	
小学校プログラミング演習	2	
音楽実技Ⅰ－3	2	
音楽実技Ⅱ－3	2	
運動会実践演習	2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ	2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ	2	
卒業研究	8	

(2) 教育学科 幼児教育コース

科目名	単位	備考
幼児教育演習Ⅰ	2	
幼児教育演習Ⅱ	2	
幼児教育演習Ⅲ	2	
幼児教育演習Ⅳ	2	
教育原論（幼）	2	
仏教と教育（初等）	2	
教育人間学Ⅰ	2	
教育人間学Ⅱ	2	
発達心理学（幼）	2	
特別支援教育概論（初等）	2	
保育原理Ⅰ	2	
教職入門（幼）	2	
教育学概論Ⅰ	2	
教育学概論Ⅱ	2	
こども教育史Ⅰ	2	
こども教育史Ⅱ	2	
教育課程論（幼）	2	
教育方法論（幼）	4	
教育社会学（幼）	2	
教育心理学（幼）	2	
授業心理学	2	
こどもの描画分析	2	
教室の心理学	2	
音楽理論	2	
教育相談（幼）	2	
保育原理Ⅱ	2	
児童家庭福祉	2	
社会福祉	2	
児童文化	2	
社会的養護	2	

障害のある子どもたち（初等）	2	
特別支援教育実践論（初等）	2	
防災・安全教育（初等）	2	
実践体験活動演習（幼）Ⅰ	2	
実践体験活動演習（幼）Ⅱ	2	
運動会実践演習	2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅲ	2	
教育実習（幼）Ⅰ	4	
教育実習（幼）Ⅱ	2	
教育実習指導（幼）	1	
教職実践演習（幼）	2	
保育内容総論	2	
保育内容（健康）の理論と方法	2	
保育内容（人間関係）の理論と方法	2	
保育内容（環境）の理論と方法Ⅰ	2	
保育内容（環境）の理論と方法Ⅱ	2	
保育内容（言葉）の理論と方法Ⅰ	2	
保育内容（言葉）の理論と方法Ⅱ	2	
保育内容（表現）の理論と方法	2	
国語（幼）	2	
算数（幼）	2	
体育（幼）	2	
音楽（幼）Ⅰ	2	
音楽（幼）Ⅱ	2	
音楽実技Ⅰ	2	
音楽実技Ⅱ	2	
音楽（幼）Ⅲ	2	
図画工作（幼）Ⅰ	2	
図画工作（幼）Ⅱ	2	
図画工作（幼）Ⅲ	2	
言語表現	2	

野 外 活 動	2	
総 合 表 現 演 習 I	2	
総 合 表 現 演 習 II	2	
運 動 遊 び 指 導 法	2	
障 害 児 保 育	2	
相 談 援 助	2	
卒 業 研 究	8	

P C利用によるプレゼンテーション	2	
P C利用によるレポート・論文技法	2	
画 像 処 理 入 門	2	
画 像 処 理 応 用	2	
P C ミ ュ ー ジ ッ ク 入 門	2	
P C ミ ュ ー ジ ッ ク 応 用	2	
W e b サ イ ト 構 築 入 門	2	
W e b サ イ ト 構 築 応 用	2	

3 現代総合科目

キャリア形成系

科 目 名	単 位	備 考
日 本 国 憲 法 1	2	
日 本 国 憲 法 2	2	
日 本 国 憲 法 3	2	
発 想 か ら 表 現 へ	2	
思 考 法 入 門	2	
日 本 語 表 現 (入 門) 1	2	
日 本 語 表 現 (入 門) 2	2	
日 本 語 表 現 (実 践)	2	
探 究 基 礎 演 習	2	
ポルトガル語圏のくらしと言葉1	2	
ポルトガル語圏のくらしと言葉2	2	
インターンシップ1大学コンソ京都	2	
インターンシップ2大谷大学	2	
キャリアデザイン概論1	2	
キャリアデザイン概論2	2	
キャリアデザイン実践1	2	
キャリアデザイン実践2	2	
ワード・プロセッシング入門	2	
ワード・プロセッシング応用	2	
P C利用による表計算入門	2	
P C利用による表計算応用	2	

自然生命系

科 目 名	単 位	備 考
生 命 の し く み と 多 様 性	2	
自 然 と 生 物 の 科 学	2	
地 震 と 火 山 1	2	
地 震 と 火 山 2	2	
地 球 科 学 1	2	
地 球 科 学 2	2	
地球環境と生命の共進化	2	
こ こ ろ の 科 学	2	
人 間 理 解 の 心 理 学	2	
ス ポ ー ツ と 健 康 の 科 学 1	2	
ス ポ ー ツ と 健 康 の 科 学 2	2	
脳 と こ こ ろ	2	
障 害 者 ス ポ ー ツ 論	2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	
ス ポ ー ツ 研 究 演 習 I	2	
障 害 者 ス ポ ー ツ 研 究 演 習 I	2	
ス ポ ー ツ 研 究 演 習 II	2	
障 害 者 ス ポ ー ツ 研 究 演 習 II	2	
カ ウ ン セ リ ン グ	2	
身 体 活 動 I	1	
身体活動I (障害者スポーツ)	1	

身体活動Ⅱ	1	
身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1	
人間関係と身体表現	2	
障害者・病者と共に生きる	2	

非戦の系譜	2	
仏教福祉論	2	

別表Ⅰ－２（第20条～第22条の2関係）

1 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（中等科）

歴史文化系

科目名	単位	備考
ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	2	
ヨーロッパの宗教と文化（フランス）	2	
現代朝鮮半島事情	2	
現代東南アジア事情	2	
東南アジアの宗教文化	2	
近代日本とアジア	2	
東アジアの宗教文化	2	
古都の歴史と文化	2	
仏教と美術	2	
インドの宗教と文化	2	
中国の宗教と文化	2	
人と文化	2	
教育学 1	2	
教育学 2	2	
ブッダに学ぶ	2	
親鸞に学ぶ	2	
部落差別と大谷派教団 1	2	
部落差別と大谷派教団 2	2	
部落差別と浄土真宗 1	2	
部落差別と浄土真宗 2	2	
部落史論 1	2	
部落史論 2	2	
反カースト運動論	2	
アイヌ民族と共に	2	
アジア侵略と宗教	2	

授業科目	免許状の種類 単位数		最低修得単位数					
	中学校教諭一種			高等学校教諭一種				
	必修	選択	備考	必修	選択	備考		
施行規則第66条の6に定める科目の概要								
日本国憲法 1	2		いずれか	2		いずれか		
日本国憲法 2	2		2単位	2		2単位		
日本国憲法 3	2		必修	2		必修		
体育実技 1（中・高）	1		いずれか 1単位 必修	1		いずれか 1単位 必修		
体育実技 2（中・高）	1			1			1	
体育実技 3（中・高）	1			1			1	
体育実技 4（中・高）	1			1			1	
体育実技 5（中・高）	1			1			1	
体育実技 6（中・高）	1			1			1	
体育実技 7（中・高）	1			1			1	
体育実技 11（中・高）	1			1			1	
体育実技 12（中・高）	1			1			1	
体育実技 13（中・高）	1			1			1	
体育実技 14（中・高）	1			1				
体育実技 15（中・高）	1			1				
体育実技 16（中・高）	1			1				
体育実技 17（中・高）	1			1				
スポーツと健康の科学 1	2		いずれか 2単位 必修	2		いずれか 2単位 必修		
スポーツと健康の科学 2	2			2			2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2			2			2	
人間関係と身体表現	2			2				

情報リテラシー 1 (中・高)	2		2	
情報リテラシー 2 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
情報リテラシー 3 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
情報リテラシー 4 (中・高)	2		2	
情報リテラシー 5 (中・高)	2		2	
教職に関する科目				
教職入門 1 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
教職入門 2 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
教育原論 1 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
教育原論 2 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
仏教と教育 (中・高)	2		2	
教育心理学 1 (中・高)	2		2	
教育心理学 2 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
青年心理学 1 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
青年心理学 2 (中・高)	2		2	
教育行財政学 1 (中・高)	2		2	
教育行財政学 2 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
教育社会学 1 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
教育社会学 2 (中・高)	2		2	
教育課程論 (中・高)	2		2	
教育方法論 1 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
教育方法論 2 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
宗教科教育法 I	2		2	
宗教科教育法 II	2	いずれか	2	いずれか
宗教科教育法 III	2	4単位必修	2	2単位必修
宗教科教育法 IV	2		2	
中社・地歴科教育法 I	2		2	
中社・公民科教育法 I	2	いずれか	2	
中社・地歴科教育法 II	2	6単位必修	2	
中社・公民科教育法 II	2		2	
国語科教育法 I	2		2	

国語科教育法 II	2	いずれか	2	いずれか
国語科教育法 III	2	4単位必修	2	2単位必修
国語科教育法 IV	2		2	
英語科教育法 I	2		2	
英語科教育法 II	2	いずれか	2	いずれか
英語科教育法 III	2	4単位必修	2	2単位必修
英語科教育法 IV	2		2	
道德教育の研究 (中・高)	2			
生徒・進路指導論 (中・高)	2		2	
教育相談 (中・高)	2		2	
教育実習 1 (中・高) (事前・事後指導を含む)	5		5	いずれか
教育実習 2 (中・高) (事前・事後指導を含む)			3	必修
教職実践演習 (中・高)	2		2	
教科又は教職に関する科目				
部落史論 1	2		2	
部落史論 2	2		2	
反カーブ運動論	2	いずれか	2	いずれか
アイヌ民族と共に	2	2単位必修	2	2単位必修
障害者・病者と共に生きる	2		2	
アジア侵略と宗教	2		2	
非戦の系譜	2		2	
道德教育の研究 (中・高)			2	

備考

- 1 教科別の教育法は受けようとする免許教科ごとにそれぞれ履修しなければならない。
- 2 教科又は教職に関する科目については、「教科に関する科目」・「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の内から、中学校教諭一種については8単位以上、高等学校教諭一種については16単位以上を履修しなければならない。

2-1 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(初等科 小学校教諭一種)

授業科目	単位数	最低修得単位数		
		必修	選択	備考
施行規則第66条の6に定める科目				
日本国憲法 1	1		2	いずれか 2単位必修
日本国憲法 2	2		2	
日本国憲法 3	3		2	
体育実技 1	1		1	いずれか 1単位必修
体育実技 2	2		1	
体育実技 1 1	1		1	
体育実技 1 2	2		1	
スポーツと健康の科学 1			2	いずれか 2単位必修
スポーツと健康の科学 2			2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動			2	
人間関係と身体表現			2	
情報リテラシー 1			2	いずれか 2単位必修
情報リテラシー 2			2	
情報リテラシー 3			2	
教科に関する科目				
教科 (国語)	2			
教科 (社会)	2			
教科 (算数)	2			
教科 (理科)	2			
教科 (生活)	2			
教科 (音楽)	2			
教科 (図画工作)	2			
教科 (家庭)	2			
教科 (体育)	2			
教職に関する科目				
教職入門 (小)	2			
教育原論 (小)	2			
教育心理学 (小)		2		いずれか

発達心理学 (小)		2	} 2単位必修 いずれか 2単位必修	
教育社会学 (小)		2		
教育行財政学 (小)		2		
教育課程論 (小)	2			
初等科教育法 (国語)	2			
初等科教育法 (社会)	2			
初等科教育法 (算数)	2			
初等科教育法 (理科)	2			
初等科教育法 (生活)	2			
初等科教育法 (音楽)	2			
初等科教育法 (図画工作)	2			
初等科教育法 (家庭)	2			
初等科教育法 (体育)	2			
道徳教育の理論と方法 (小)	2			
特別活動論 (小)	2			
教育方法論 (小)	2			
生徒・進路指導論 (小)	2			
教育相談 (小)	2			
教育実習指導 (小)	1			
教育実習 I (小)		4	} いずれか 必修	
教育実習 II (小)		2		
教職実践演習 (小)	2			
教科又は教職に関する科目				
仏教と教育 (初等)	2			
こども教育史 I		2		
こども教育史 II		2		
教育学概論 I		2		
教育学概論 II		2		
教育人間学 I		2		
教育人間学 II		2		
特別支援教育概論 (初等)		2		

障害のある子どもたち（初等）		2	
障害児の教育（初等）		2	
特別支援教育実践論（初等）		2	
防災・安全教育（初等）		2	
探求ゼミ（算数）Ⅰ		2	
探求ゼミ（算数）Ⅱ		2	
探求ゼミ（算数）Ⅲ		2	
探求ゼミ（理科）Ⅰ		2	
探求ゼミ（理科）Ⅱ		2	
探求ゼミ（理科）Ⅲ		2	
ICT教育		2	
小学校プログラミング演習		2	
実践体験活動演習（小）Ⅰ		2	
実践体験活動演習（小）Ⅱ		2	
運動会実践演習		2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ		2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ		2	
授業心理学		2	
教室の心理学		2	
初等科教育法（外国語活動）		2	
教科（外国語活動）		2	
アイヌ民族と共に		2	いずれか
障害者・病者と共に生きる		2	2単位必修

備考

教科又は教職に関する科目については、「教科に関する科目」・「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の内から、小学校教諭一種については12単位以上を履修しなければならない。

2-2 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（初等科 幼稚園教諭一種）

	単位数	最低修得単位数
--	-----	---------

授業科目	必修	選択	備考
施行規則第66条の6に定める科目			
日本国憲法 1		2	いずれか 2単位必修
日本国憲法 2		2	
日本国憲法 3		2	
体育実技 1		1	いずれか 1単位必修
体育実技 2		1	
体育実技 1 1		1	
体育実技 1 2		1	
スポーツと健康の科学 1		2	いずれか 2単位必修
スポーツと健康の科学 2		2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動		2	
人間関係と身体表現		2	いずれか 2単位必修
情報リテラシー 1		2	
情報リテラシー 2		2	
情報リテラシー 3		2	
教科に関する科目			
国語（幼）	2		
算数（幼）	2		
体育（幼）	2		
音楽（幼）Ⅰ	2		
音楽（幼）Ⅱ	2		
音楽（幼）Ⅲ		2	
図画工作（幼）Ⅰ	2		
図画工作（幼）Ⅱ		2	
図画工作（幼）Ⅲ		2	
教職に関する科目			
教職入門（幼）	2		
教育原論（幼）	2		
教育心理学（幼）		2	いずれか 2単位必修
発達心理学（幼）		2	

教育社会学(幼)	2		
教育課程論(幼)	2		
保育内容(健康)の理論と方法	2		
保育内容(人間関係)の理論と方法	2		
保育内容(環境)の理論と方法Ⅰ	2		
保育内容(環境)の理論と方法Ⅱ	2		
保育内容(言葉)の理論と方法Ⅰ	2		
保育内容(言葉)の理論と方法Ⅱ	2		
保育内容(表現)の理論と方法	2		
教育方法論(幼)	4		
教育相談(幼)	2		
教育実習指導(幼)	1		
教育実習(幼)Ⅰ	4	} いずれか 必修	
教育実習(幼)Ⅱ	2		
教職実践演習(幼)	2		
教科又は教職に関する科目			
仏教と教育(初等)	2		
こども教育史Ⅰ	2		
こども教育史Ⅱ	2		
教育学概論Ⅰ	2		
教育学概論Ⅱ	2		
教育人間学Ⅰ	2		
教育人間学Ⅱ	2		
特別支援教育概論(初等)	2		
障害のある子どもたち(初等)	2		
特別支援教育実践論(初等)	2		
防災・安全教育(初等)	2		
実践体験活動演習(幼)Ⅰ	2		
実践体験活動演習(幼)Ⅱ	2		
運動会実践演習	2		
おおたにキッズキャンパス演習Ⅲ	2		

授業心理学	2		
教室の心理学	2		
アイヌ民族と共に	2	} いずれか 2単位必修	
障害者・病者と共に生きる	2		

備考

教科又は教職に関する科目については、「教科に関する科目」・「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の内から、幼稚園教諭一種については12単位以上を履修しなければならない。

3-1 保育士資格に関する科目

区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
教 養 科 目	仏教と教育(初等)	2		
	情報リテラシー1		2	} いずれか 2単位必修
	情報リテラシー2		2	
	情報リテラシー3		2	
	日本国憲法1		2	} いずれか 2単位必修
	日本国憲法2		2	
	日本国憲法3		2	
	英語Ⅰ	4		
	英語Ⅱ		4	
	スポーツと健康の科学1		2	} いずれか 2単位必修
	スポーツと健康の科学2		2	
	生涯スポーツ・レクリエーション活動		2	
	人間関係と身体表現		2	
	体育実技1		1	} いずれか 1単位必修
	体育実技2		1	
	体育実技1 1		1	
	体育実技1 2		1	
	保育原理Ⅰ	2		
	教育原論(幼)	2		

必修科目	児童家庭福祉	2		
	社会福祉	2		
	相談援助	2		
	社会的養護	2		
	教職入門(幼)	2		
	発達心理学(幼)	2		
	乳幼児心理学	2		
	子どもの保健Ⅰa	2		
	子どもの保健Ⅰb	2		
	子どもの保健Ⅱ	1		
	子どもの食と栄養	2		
	家庭支援論	2		
	教育課程論(幼)	2		
	保育内容総論	2		
	保育内容(健康)の理論と方法	2		
	保育内容(人間関係)の理論と方法	2		
	保育内容(環境)の理論と方法Ⅰ	2		
	保育内容(環境)の理論と方法Ⅱ	2		
	保育内容(言葉)の理論と方法Ⅰ	2		
	保育内容(言葉)の理論と方法Ⅱ	2		
	保育内容(表現)の理論と方法	2		
	乳児保育	2		
	障害児保育	2		
	社会的養護内容	2		
	保育相談支援	2		
	音楽実技Ⅰ	2		
	音楽実技Ⅱ	2		
	図画工作(幼)Ⅰ	2		
	図画工作(幼)Ⅱ	2		
	体育(幼)	2		
	言語表現	2		

選択必修科目	保育実習Ⅰ	4		保育所、施設において各10日以上、80時間の実習を行う。
	保育実習指導Ⅰ	2		
	教職実践演習(幼)	2		
	保育原理Ⅱ		2	6単位以上必修
	青年心理学		2	
	教育相談(幼)		2	
	児童文化		2	
	音楽(幼)Ⅰ		2	
	音楽(幼)Ⅱ		2	
	音楽(幼)Ⅲ		2	
	図画工作(幼)Ⅲ		2	
	総合表現演習Ⅰ		2	
	総合表現演習Ⅱ		2	
	保育実習Ⅱ		2	いずれか2単位必修 (保育所、施設いずれかにおいて10日以上、80時間の実習を行う。)
	保育実習Ⅲ		2	
	保育実習指導Ⅱ		1	いずれか1単位必修
	保育実習指導Ⅲ		1	
	アイヌ民族と共に		2	いずれか2単位必修
	障害者・病者と共に生きる		2	

3-2 保育心理士に関する科目

区分	授業科目	単位数
必修科目	仏教と教育（初等）	2
	保育相談支援	2
	乳幼児心理学	2
	臨床心理学	2
	発達心理学（幼）	2
	障害児保育	2
	相談援助	2
	社会的養護内容	2
	こどもの描画分析	2
	教育相談（幼）	2
	子どもの保健Ⅰa	2
	子どもの保健Ⅰb	2
子どもの保健Ⅱ	2	
保育心理士実習	1	
保育心理士実習指導	1	

4 学校図書館司書教諭に関する科目

区分	授業科目	単位数
必修科目	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用	2

5 社会教育に関する専門科目

授業科目	単位数
生涯学習概論	4
社会教育計画	4
社会教育演習、社会教育実習又は 社会教育課題研究のうち1以上の科目	4

社会教育特講 社会教育特講Ⅰ（現代社会と社会教育） 社会教育特講Ⅱ（社会教育活動・事業・施設） 社会教育特講Ⅲ（その他必要な科目）	12
--	----

6 博物館学に関する専門科目

区分	授業科目	単位数	備考	
必修科目	生涯学習概論	2		
	博物館概論	2		
	博物館資料論	2		
	文化財保存科学論	2		
	博物館経営論	2		
	博物館情報・メディア論	2		
	博物館教育論	2		
	博物館展示論	2		
	博物館実習	3		
	展示実習	2		
	古文書解読法	4		
選択科目	A群	文化史	2	選択科目については、A群から4単位、B群から4単位、計8単位以上履修しなければならない。
		文化交流史	2	
		文化人類学	2	
	B群	美術史	2	
		考古学	2	
		民俗学	2	
	古文書学	2		

7 社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目

授業科目	単位	備考
医学一般	2	
心理学	2	
社会学	2	

現代社会と福祉 1	2	
現代社会と福祉 2	2	
社会福祉調査論	2	
相談援助の基盤と専門職 1	2	
相談援助の基盤と専門職 2	2	
相談援助の理論と方法 1	2	
相談援助の理論と方法 2	2	
相談援助の理論と方法 3	2	
相談援助の理論と方法 4	2	
地域福祉論 1	2	
地域福祉論 2	2	
福祉行財政と福祉計画	2	
社会福祉施設経営論	2	
社会保障論 1	2	
社会保障論 2	2	
高齢者福祉	2	
介護概論	2	
障害者福祉	2	
児童福祉	2	
公的扶助論	2	
保健医療サービス論	2	
就労支援	1	
権利擁護と成年後見制度	2	
司法福祉論	1	
社会福祉援助技術演習 1	2	
社会福祉援助技術演習 2	2	
社会福祉援助技術演習 3	2	
社会福祉援助技術演習 4	2	
社会福祉援助技術演習 5	2	
社会福祉援助技術現場実習指導 I	2	
社会福祉援助技術現場実習指導 II	2	

社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	2	
社会福祉援助技術現場実習	4	(定められた施設又は事業所において、180時間の実習を行う。)

8-1 図書館学に関する専門科目

区分	授業科目	単位数
必修科目	生涯学習概論	2
	図書館概論	2
	図書館制度・経営論	2
	図書館情報技術論	2
	図書館サービス概論	2
	情報サービス論	2
	児童サービス論	2
	情報サービス演習Ⅰ	1
	情報サービス演習Ⅱ	1
	図書館情報資源概論	2
	情報資源組織論	2
	情報資源組織演習Ⅰ	1
	情報資源組織演習Ⅱ	1
	選択科目	図書館基礎特論
図書館サービス特論		1
図書館情報資源特論		1
図書・図書館史		1
図書館施設論		1
図書館総合演習		1
図書館実習		1

8-2 図書館学課程に関する推奨科目

授業科目	単位	備考
文書情報管理論	2	
ファイリング論	2	

9 真宗大谷派教師資格に関する科目

区分	授業科目	所要単位数	備考	
A 群 必 修 科 目	教行信証演習	4	すべての科目 について、各 科目の所要単 位数以上履修 すること。	
	真宗学講義	4		
	真宗学演習	4		
	真宗史	4		
	仏教学講義	4		
	仏教学演習	4		
	差別問題	4		
	声明作法	2		
	仏教音楽	2		
B 群 選 択 必 修 科 目	教化学	4	各部門より、授業科目 いずれか 1科目につ いて所要単 位数以上履 修すること。	
	宗教法規	2		
	歴史 部門	インド仏教史		4
		中国仏教史		
		日本仏教史		
	概論 部門	哲学概論		4
		倫理学概論		
		宗教学概論		
	理論 部門I	インド哲学		4
中国哲学				
西洋哲学				
キリスト教教理				
宗教心理学				
宗教社会学				
宗教哲学				

理論 部門II	社会教育学 社会教育施設 視聴覚教育 青少年心理学 家族社会学 社会思想史 幼児教育論 社会事業論 社会経済史 寺院経済史 教化心理学 新宗教概説 都市農村問題研究 青少年問題研究 ジャーナリズム研究	2 又 は 4	
	実践 部門	青少年指導実習 カウンセリング レクリエーション指導	

別表II (第35条・第55条・第56条・第56条の2・第56条の3・第57条・第66条関係)

入学検定料及び学費等一覧表

種別	文学部	社会学部	教育学部	科目等 履修生	聴講生	研修員	外国人留 学研究生	備考
入学 検定料	35,000 (10,000)	35,000 (10,000)	35,000 (10,000)	-	-	-	-	受験時のみ ()内は「大学入試センター試験利用 入試」の受験者
入学金	250,000	250,000	250,000	-	-	-	-	入学時のみ
授業料	840,000	840,000	940,000	-	-	-	-	年額
施設費	300,000 (100,000)	300,000 (100,000)	340,000 (100,000)	-	-	-	-	年額 ()内は入学年度のみ

選考料	-	-	-	10,000	10,000	-	10,000	出願時のみ
登録料	-	-	-	10,000	10,000	-	-	登録時のみ
履修料	-	-	-	15,000	-	-	-	1単位(コース履修生含む)
聴講料	-	-	-	-	30,000	-	-	年額(週2時間)
	-	-	-	-	15,000	-	-	半年(週2時間)
研修費	-	-	-	-	-	240,000	-	年額
研究費	-	-	-	-	-	-	240,000	年額
	-	-	-	-	-	-	120,000	半年
在籍料	120,000	120,000	120,000	-	-	-	-	年額

注1 編入学者、転入学者、再入学者の入学検定料は、上記に準ずる。

2 その他の費用については、別に定める。

○大谷大学教授会規程

最近改正 2017年3月2日

(趣旨)

第1条 この規程は、大谷大学学則第7条第2項に基づき、教授会の運営に関する必要事項を定めるものとする。

(構成)

第2条 教授会は、文学部、社会学部及び教育学部の専任の教授、准教授並びに講師をもって構成する。ただし、次の各号のいずれかに該当する者は、その期間中構成員から除くものとする。

- (1) 休職中の者
- (2) 休業中の者
- (3) 在外研究中の者

(招集)

第3条 学長は、教授会を招集し、学監・副学長が議長となる。

- 2 学長は、必要により大谷大学短期大学部との連合教授会を招集することができる。
- 3 学長は、構成員の4分の1以上の者から招集の請求があるときは、これを招集しなければならない。

(定足数)

第4条 教授会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。

- 2 議事は、出席者の過半数でこれを決める。可否同数のときは議長の決めるところによる。

(審議事項)

第5条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学及び卒業に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 教育課程の編成に関する事項
 - ア 大谷大学学則の改正に関する事項
 - イ 履修規程の改正に関する事項
 - ウ 大谷大学学位規程の改正に関する事項
- (4) 教員の教育研究業績の審査等に関する事項
 - ア 大谷大学職制規程第2条及び第13条に定める、教授、准教授、講師及び助教の採用並びに昇格に関する事項

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長、学監、副学長及び部科長等（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

- (1) 学部、学科の設置改廃に関する事項
- (2) 大谷大学職制規程第2条及び第13条に定める、教授、准教授、講師及び助教について、前項第4号以外の審査等に関する事項
- (3) 客員教授及び非常勤講師の採用に関する事項
- (4) 進級判定、卒業論文提出資格判定に関する事項
- (5) 再試験判定に関する事項
- (6) 単位認定に関する事項
- (7) 在外研究員に関する事項
- (8) 学生の休学、復学、留学、転学及び退学に関する事項
- (9) その他学長等が必要と認めた事項

（会議の出席）

第6条 学長は、必要と認めた場合、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

（所管）

第7条 この規程に関する事務の所管は、学生支援部教務課とする。

（改廃）

第8条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

付 則

この規程は、 年 月 日から施行する。

付 則

この規程は、1969年6月25日から施行する。

付 則

この規程は、2006年12月20日に一部改正し、2007年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2008年6月1日一部改正し、同日から施行する。

付 則

この規程は、2015年3月5日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2017年3月2日に一部改正し、2018年4月1日から施行する。